

# 2016年3月期 決算説明会 Q&A サマリ

2016年5月12日時点

## 【FY15 実績について】

Q 4Qで市場環境に変化はあったか？

A 基本的に中東・日本をはじめ堅調な地域・業種(ダウストリーム)に大きな変化はない。

Q 4Qで売上・営業利益が下がった理由は？

A FY14 4Qに大口案件を売り上げていたことなど、前年同期は例年より売上が大きくなった。またFY15 4Qでは売上に多少の期ずれが発生したことも影響している。営業利益は減収と為替の影響によるものである。

Q 実効税率が25%に下がった理由

A 円安の影響もあり、繰越欠損金をかかえている国内課税所得が非常に大きなポジションをしめたため。

## 【FY16 業績予想について】

Q 制御の受注は、為替やM&Aの影響を除いて伸びるのか？

A 小口の積み上げを中心に微増と予想している。

Q FY16は粗利悪化しないのか？

A 市況は若干回復してきたと感じており、コストダウン等で粗利改善は可能だと考えている。

Q 為替感応度が約6億円程度に上がる理由は？

A USドル以外の通貨も含め、円が独歩高になると予想しているため。

Q FY16のコストダウン100億円の意味は？

A FY15:57億円、FY16:43億円の累積額である。

Q KBC買収の影響は？

A FY16の予想には、概算で①受注100億円、②売上110億円、③損益▲25億円（営業利益10億円程度・のれん償却20億円・諸費用10億円強）を織り込んでいる。

Q 実効税率が上昇しているように見える理由は？

A 為替が円高に推移し、国内の課税所得が減少することや、若干保守的に予想しているため。

(注) 本資料で提供する情報のうち業績見通し及び事業計画等に関するものは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいています。従って、実際の業績は、様々な要因により、これらの見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。尚、内容につきましては、理解し易いように部分的に加筆・修正しています。